

令和４年度 第２回西区区政会議 会議録

１．開催日時 令和４年 11 月 18 日（金） 19 時 00 分から 20 時 56 分

２．開催場所 西区役所 4 階 402 会議室

３．出席者の氏名

伏見 祐子（委員）、秦 喜代子（委員）、奥川 恵子（委員）、吉田 淳三郎（委員）、平川 優子（委員）、堀内 正敏（委員）、山東 明（委員）、中村 佳世（委員）、甲斐 純子（委員）、葛目 弘子（委員）、古仲 万代子（委員）、岡野 正敏（委員）、竹下 政稔（委員）、吉野 仁子（委員）、岡田 三佐枝（委員）、江戸 実（委員）、橋本 千鶴（委員）、中山 和子（委員）、蕭 耕偉郎（委員）
三村 浩也（西区長）、村上 光司（西区副区長）、松谷 康男（総務課長）、森本 恵二（事業調整担当課長）、江原 勝弘（教育担当課長）、折原 裕之（地域支援課長）、大島 一晃（安全安心きずなづくり担当課長）、西村 悦子（窓口サービス課長）、江川 浩子（保健福祉課長）、玉置 信行（子育て支援担当課長）、山中 一弘（生活支援担当課長）

４．議題

・将来ビジョン・福祉ビジョン改定に係る意見聴取について

５．報告事項

・令和４年度第１回教育会議に係る結果報告について

６．議事内容

（森本事業調整担当課長）

皆様の本日もお忙しい中ご参集を賜りましてありがとうございます。

定刻となりましたので、ただいまから令和４年度第２回西区区政会議を開催させていただきます。

私は進行を担当いたします西区役所事業調整担当課長森本でございます。

今回もどうぞよろしくお願いいたします。

それではまず本日の出席状況でございます。

神田委員、鶴原委員、谷川委員、山内委員、山本委員、鈴木委員、伊達委員から所用により欠席される旨ご連絡を頂戴してございます。

なお、まだ若干をお着きでない委員もいらっしゃいますが、現在定数の2分の1以上が出席されていることから、本会は成立していることを申し上げます。

議事に入ります前にお願いがございます。

区政会議は公開が原則となっております。議事録作成のため録音をさせていただいております。また、記録用として職員がカメラ撮影を行います。

それでは開会にあたりまして、三村区長から挨拶申し上げます。

（三村西区長）

皆さんこんばんは。区長の三村でございます。平素より西区政への多大なるご理解ご協力本当にありがとうございます。本日は遅い時間にもかかわらず、またご多忙の中お集まりいただきまして本当にありがとうございます。

さて、本日は今年度第2回目の区政会議です。前回に引き続き将来ビジョン及び福祉ビジョンの改定についてご意見をお伺いする場となっております。進め方については、前回第1回の時にいただいたご意見を踏まえ、事前勉強会を開催したり、会議の見える化を行なうことでより活発な議論に繋がるように進め方を変えております。活発なご議論をいただければと思います。

今後は、いただいたご意見等を踏まえ、より細かい具体的な施策については来年度1年間の区政の指針となる運営方針に反映させていく段取りで考えております。

本日の会議は、区政において非常に重要な方向性を議論する会議であり、ぜひ皆様方の忌憚のないご意見をいただきたいと思いますと思っております。

なお、新型コロナウイルスについては、まだ収まらないどころかまた感染拡大の兆候が出ている状況ですので、本日もマスク着用、アルコール消毒、換気等の新型コロナ

ウイルス感染拡大防止対策をとらせていただき会議を進めさせていただきます。それでは、本日の会議では委員の皆さま方におかれましては十分にご議論いただきますようお願いいたします。

（森本事業調整担当課長）

それでは本日の資料を確認させていただきます。

クリップどめの資料をご覧いただきまして、一番上が次第、続きまして、右肩に資料 1 から資料 9 まで書いてございますのでそれをご覧になりながら、お聞きいただきますようお願いいたします。

まず、資料 1、これが施策展開の方向性、将来ビジョンの改定案となります。

資料 2、現在の将来ビジョンきらぼか計画です。必要に応じてご参照ください。

資料 3、これが西区地域福祉ビジョンの概要版です。福祉ビジョンの改定案となります。

資料 4、現在の西区地域福祉ビジョンです。こちらにも必要に応じてご参照ください。

資料 5、これが令和 4 年度の西区予算額です。こちらにも議論の参考としてください。

資料 6、これが令和 4 年度第 1 回西区教育会議の資料です。会議の最後の方で少し説明の時間を頂戴いたします。

資料 7、これが事前勉強会の意見のまとめです。これは先立って 11 月 8 日の事前勉強会にご参加いただいた区政会議委員 13 名から頂戴いたしましたビジョンはじめ区政に関するご意見でございます。先ほども区長からございましたとおり、議論の見える化の一環の試みとしてご用意させていただいております。

本日のグループ討議は、この意見を掘りさげていただきたいと考えてございます。

なお、お手元の資料には、グループ討議の進行上、ご意見を頂戴した委員のお名前、を記載しておりますが、会議資料として区役所ホームページに公表する際には、お名前は削除させていただきます。委員の皆様のお手元のお名前入りの資料につきましては、本日の区政会議限りの扱いとしていただきますようお願い申し上げます。

次に資料 8、これは区政会議委員からいただいた評価のまとめ、資料 9、区政会議委員アンケート結果まとめ、それからクリップ止めしていない 1 枚ものの資料でございますが、連絡シートをご用意させていただいてございます。資料はそろっておりますでしょうか。

それではここからは蕭議長に進行をお願いいたします。

（蕭議長）

皆さんこんばんは。本日の議長を拝命しております九州大学の蕭です。よろしくお願いいたします。

では、本日は先ほども区長からご案内がありましたとおりですけれども、第 1 回区政会議に引き続き西区の将来ビジョン、福祉ビジョンについてご意見をいただくこととなっております。

本日も夜間の会議ということもあってコロナも広がりつつあるような状況もございますので、本日も概ね 9 時前、できれば 8 時 45 分ぐらいをめどに進めていきたいと考えております。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

では、早速ですけれども皆さんお手元にあるところの次第に沿って進めて参りたいと思います。

先ほど、区長のご挨拶にもあったとおりですけれども、今回は事前に勉強会を開催させていただいて、その際に、皆さんそれぞれいただいたご意見を中心に議論をしていただきたいと考えておりますので、早速ですけれどもグループ議論の方に入っていただきたいのですけれども、その前に森本課長から、今日の議論の進め方について説明をお願いしたいと思います。

（森本事業調整担当課長）

それではグループ討議の進め方についてご説明をさせていただきます。

すでにご案内のとおり、先週 11 月 8 日に勉強会を実施してございまして、参加いただいた 13 人の委員の皆様から様々なご意見を頂戴しております。この意見をグルー

プごとにまとめたものが、冒頭申し上げました、お手元の資料 7 となっております。

本日はまず勉強会と同じく、4 つのグループに分かれていただき、この資料 7 の中で、ご自分のグループのご意見について、できるだけ委員間で掘りさげていただき、将来ビジョン、福祉ビジョンに反映すべき事柄があれば、ご提起いただければと考えてございます。

ただ、事前勉強会でいただいたご意見から考えますと、将来ビジョン、福祉ビジョンにお示しした施策の柱立ては基本的にはご了解いただいたうえで、より具体的な取り組みレベルで様々なご意見を頂戴しているという印象を受けてございます。

こういったご意見は、次回、第 3 回区政会議でお示しをいたします運営方針の案へ反映できる部分は反映したいと考えてございますので、そういった観点からも、ぜひ、委員間で意見交換し、掘りさげていただければありがたく存じます。

グループ討議は、各担当の課長が進行いたしますが、時間の制約上、勉強会で頂戴したご意見すべてを議論できるかといった点もございますので、各課長の裁量で、進行いたしますことをご了解いただきますようお願いいたします。

また、勉強会でのご意見の趣旨等について、提案いただいた委員にお尋ねすることもございますので、その際はよろしくお願いいたします。

グループでの討議は、この後、7 時 15 分から 55 分までの 40 分間、移動も含め、8 時にはこの部屋にお戻りいただき、全体での会議を再開する流れでお願いいたします。

防災・防犯・コミュニティグループの委員の方はこの部屋で、福祉・健康グループの委員の方はこの奥の 401 会議室、教育・子育てグループは、恐縮でございますが、5 階に上がっていただきまして 502 会議室、総務・広報グループも 5 階の 501 会議室となります。

恐縮ですが、防災・防犯・コミュニティグループの委員の皆様は、この部屋で、机の配置をコの字型に変える必要がございますので、後程ご協力賜りますようによろしくお願いいたします。

移動の際には、資料と名札もお持ちいただきますようお願いいたします。

説明は以上でございます。

（蕭議長）

ありがとうございます。今のご説明で何かご不明な点はございますか。

では、早速ですけれども、グループ討議を開始してください。よろしくお願いいたします。

＝一旦中断＝

（蕭議長）

皆様、討論お疲れ様でした。定刻になりましたので会議を再開したいと思います。それでは、グループごとに意見をご報告いただければと思います。

ではまず、防災・防犯・コミュニティグループからお願いしたいと思います。

（大島安全安心きずなづくり担当課長）

防災・防犯・コミュニティグループの報告をさせていただきます。

お手元資料7は、事前勉強会をさせていただいた時に、いろんなご意見をお伺いしたものです。これを掘りさげてみようということで、お話をさせていただきましたので、この資料7もご覧いただきながら聞いていただきたいと思います。

多くのご意見をいただいたのですけれども、特に町会加入の促進に向けてどうしたらいいのかというのが大きな命題で、町会で防犯、防災も含めていろいろな行事や取組みをされているのですけれども、そういったメリットや良いことをやっていることを知らない人が多いので、もっとその辺りをPRしないといけないのではないかというご意見を頂戴しました。

区役所でもホームページや広報紙でいろいろな地域の取組みをご紹介させていただいています。また、区役所1階にもリーフレットを置いたりポスターを掲示したりしているのですけれども、もう少し大きく、見やすいようにした方が良いのではというご意見を頂戴しました。さらに、今後はそういう紙ベースだけではなく、動画などを活

用して来庁者の方の印象に残るようにPRするなどの工夫が必要ではないかなというご意見も頂戴しました。

それと、地域行事にこどもたちは参加するのですけれども、そのお父さんやお母さんといった子育て世代の方が働いている方が多いなどの理由で、お手伝いも含めてなかなか参加できないということで、担い手不足の問題も含め原因の一つではないかとのご意見も頂戴しました。

同じような意見ですが、学校やPTA、こども会などのいろいろな地域行事でこどもを通じた大人とのおつき合いや繋がりを深めることによって、顔見知りとなりそれがひいては、町会の行事に参加されたり、お手伝いしたり、そういったふうに繋がっていくのではないかな、というご意見も頂戴したところです。

また町会ごとで、取り決めもあるのですけれども、いわゆる町会費が各単位町会や戸建てとマンションごとで、会費の値段が違ったりということで、町会に入りにくくなったりするので、その辺、何かうまいことできないかなというご意見も頂戴したところです。

西区はマンションが多く、その中でワンルームマンションが非常に増えているので、やはりの単身者に対しての行事への参加とかお手伝いとかが非常に難しいというご意見を頂戴しています。

また、マンション内の理事会とか自治会で、遊びやサークルなどの取組みが進んでいけば、顔見知りの関係からそれが地域との繋がり、町会加入や町会結成につながるのではないかとのご意見も頂戴したところです。

また、学校を通じた関係づくりということで、学校はいろいろな方が利用されており、町会の役員だけではなくにそうしたPTA、こども会、学校体育施設開放事業のクラブが、地域の行事に参加するとか、ブース出展で参加するとか、そうしたことで輪が広がっていくのではないかとということで、やはり声掛けも含めて、重要ではないかというご意見を頂戴したところです。

また、防災の取組みをキーワードに、いわゆる祭りとミックスすることによって、こどもの参加に合わせて大人たちの参加を促すといった取組みも必要ではないか、と
のご意見を頂戴したところです。以上です。

（蕭議長）

ありがとうございました。

では、続いて、福祉・健康グループの方からお願いしたいと思います。

（山中生活支援担当課長）

福祉・健康グループの生活支援担当の山中と申します。

うちのグループにつきましては、西区地域福祉ビジョンについて、主に施策展開の方向性、また対象者に漏れがないかという点を中心にご意見をいただきました。

施策展開の方向性につきましては、繋がりを広げ、強めていくということ、また繋がりが希薄な方について、普段の生活の中で気にかけるという視点が大切であるという方向性についてはご賛同いただきました。

その中で、いろいろな意見をいただいたのですけれども、例えば、コロナ前についてはいろいろな活動ができて、他の地域との交流があったりしたのですが、それが今はできなくなってきていると。

ただ、ある地域においては、見守り活動に熱心な方がいらっしゃって、その方がいろいろな声掛けをして、参加者が増えたであるとか、そういうキーパーソンの方がいれば、何か繋がりが広がっていくのではないかと、であるとか。あと100歳体操についてはコロナであっても集まってもらおうように言っているであるとか、あとは、西区はマンションが多いので、マンションの自治会に情報を届けて、入居者に情報共有をしていくようにしていけばいいのではないかと、というようなご意見をいただきました。

また、対象者につきましては、ビジョンにおいて誰もが地域の中で、例えば、健常者であっても、いつご本人が支援を必要とするか分からず、また、できるだけ健康を保つという視点で啓発していくということや、外国にルーツを持つ方についても、コミ

コミュニケーションの取りづらさなどを念頭に置いて施策を進めていくことが重要という
共通認識をご確認いただきました。

しかしながら、主には高齢者、障がい者、子どもなど福祉課題を持つ方がターゲット
となる点についてもお賛同いただきました。

その中で、いただいた意見ですが、障がい者の方については声かけをやっているの
ですけれども、なかなか相手の方が警戒しているとか引かれることによって、なか
なか関係づくりが持ちにくいであるとか、ただ障がい者の方はこちらから手伝うって
声をかけたとしても、自分で何とかやっていきたい、と自分の力でやりたがるという
ご意見であるとか。また外国にルーツを持つ方については、なかなかコミュニケーシ
ョンについては取りにくいけれども、こちらから挨拶をしていけば向こうも挨拶を返
してくれるという中で、気づきであるとか、繋がりが、そこから関係が持てるのでは
ないか、というようなご意見をいただきました。

ちょっととりとめのないことになりましたけれども以上でございます。

（蕭議長）

ありがとうございました。

では、続いて教育・子育てグループの方からお願いしたいと思います。

（玉置子育て支援担当課長）

子育て支援担当課長玉置でございます。

教育・子育てグループにつきましてご報告をさせていただきます。

資料7の3ページが教育・子育てグループになってございます。

大きくは3つございますけれども、まず1点目ということで、未就学の親子が集いま
すつどいの広場に関することでもっと充実できないかというようなご意見を頂戴いた
しました。

区役所からは、今7ヶ所の拠点がございますが、さらに今8ヶ所目を公募している現
状にあり、この区内に8ヶ所というのは、他の23区と比べても、一定充実努めてい

る旨を申しあげました。

ただ、なかなかですね、いろんなご意見とかもあるということです、引き続き充実に努めていかないといけないというふうなところでご回答させていただいたところでございます。

それについてのご意見でございますけれども、まずは箇所数、整備数の話はそうであったとしても、まずそもそも、つどいの広場あるいは子育てサロンの存在を知っているお父さんお母さんたちがどれぐらいいるのかと周知が非常に少ないのではないかなというふうなご意見をいただいております。

LINEでありますとか冊子でありますとか、そういったようなところで周知をしてもどれだけ届いているのかと、そういったご意見をいただいております。

例えば、つどいの広場あるいは子育てサロンで、それぞれがどういった内容で、いつ実施されているのか、どういった方が運営されておられるのかというのが全然分からないので、そういった情報があれば、検索して行ってみようということにも繋がるのではないかとのご提案を頂戴したところでございます。

この件に関しましては、地域の方の取組みということでご報告がありましたけれども、子育てサロンを運営いただいている委員の方からのお話ですけれども、公園で親子の方が今いらっしゃってということで、今、ここに子育てサロンがあるよということで、招き入れていただいたのですが、ただその親子は子育てサロンとかこの公園のその一角のところに実は、その会館のところにあるというのを全然知らず、お声をかけてもらって初めて知ったと、また、子育てサロンが参画いただいている行事イベントの時に参加されている方に聞いても、なかなか子育てサロンであるとかつどいの広場をそこで初めてその存在を知ったというふうなことで、地域の方もその周知に努めていただいているというふうなご意見も頂戴いたしました。

2点目でございますけれども、資料7の3ページの下の方ということで、直接のビジョンの文言ということではないのですけれども、ご意見として頂戴いたしました乳幼

児等の健診で、開催日、開催場所についてご意見を頂戴したところでございます。

いろいろな体制、運営のドクターの確保の面、あるいは精密検査というのが必要になった場合に、すぐにそこで次の予約をとっていく必要がある。そういったような点等から、今現状では平日の開催になっているということで、区役所の方から現状を申しあげたところでございます。

ここにつきましては、引き続き、何か改善できるところについては、あれば見つけていただければということで、ご意見を頂戴したところでございます。

3点目ということで資料にはございませんけれども、教育関係についてでございます。

区役所としては、今回のビジョンにおいて、学校の支援策について新たに考えていることでありますとか、あと前回の区政会議で、クラブ活動とグラウンドの場所の確保がなかなかできないところがあるご紹介もいただきましたので、何とか直接権限を持っている公園の部署であるとか、教育委員会の部署とかに区役所もかけ合いながら、何とかそういったことで地域の方のお声を届けたりというのをしていることや、今回のビジョンにつきましても、関係局と連携をして教育環境の改善に努めるとの文言を新たに盛り込んでいますというご説明をさせていただいたところでございます。

あと、教育に関しまして、委員の皆様からのご意見ということで、非常に子どもの数が多い学校で、増築でありますとか新設校を設置して対応するといったような地域の学校もある一方で、子どもの数も非常に少ない学校もあるということで、そういった両面にわたり課題があるということでご意見を頂戴したところでございます。

教育・子育てグループに関しましては以上でございます。

（蕭議長）

ありがとうございました。

では、最後、総務・広報グループの方からお願いしたいと思います。

（森本事業調整担当課長）

事業調整担当課長森本でございます。

私どものグループはですね、資料 1 の 22 ページから 24 ページ、これが総務・広報グループの担当の範囲ということになってございますので、ここについて、改めて議論を深めていただきましたので、ちょっとそちらも参照いただきながらご説明をさせていただきます。

大きく 3 つ、それぞれ 22 ページから 24 ページに書いてございます。

区民の声が反映される区政の推進、1 枚めくっていただきまして、窓口改革、3 つ目が 24 ページの I C T の活用と、この 3 つをテーマにお話をしました。

22 ページに戻っていただきまして、区民の声が反映される区政の推進ということですが、これは区役所から行政の情報をきっちり出した上で、それをご理解いただいた上で区民から意見を頂戴するという仕組みを作っていくという話なのですが、その中で 1 つヒントをいただきましたのが、明治地域で今後ホームページを作成していくということになってございまして、そのホームページはとりあえず地域情報の広報になるのですけれども、近い将来区役所ともリンクを貼りながら、区政情報とか市政情報も流していただけるという方向でお考えいただいているようでございますので、そういったことが地域の横展開をしていただくようなことがないかなというようなことの議論もございました。

あとは、区役所が行ったアンケートでも縷々ご意見頂戴したのですけれども、例えばイベントをやっている現場でボードを設置してよく〇×とか、どっちがよいとか、簡便なアンケートをテレビでもやっていますけれども、そういったちょっと分かりやすいアンケートの取り方、これも工夫して欲しいと意見を頂戴しました。

次の 23 ページの窓口改革でございます。

これにつきましては、区役所の窓口を評価するに際して、いろいろな視点があるかと思えますけれども、絶対外せない視点が、待ち時間の解消。これではなかろうかというご意見を頂戴しています。

今回提示しております 23 ページにありますけれども、この改定案には、待ち時間の解

消という言葉もニュアンスも入ってございませんので、これは必ず入れるべしということでご意見を頂戴いたしましたので、ここは修正をさせていただきたいと考えてございます。また皆様に修正案を提示させていただきたいと考えてございます。

最後に 24 ページの I C T の活用でございますけれども、これは明治地域でございますけれども、スマホの勉強会も地域でされているということでございます。

アンドロイドしか扱えないという課題もあったものの、専門業者に着てやっていただいていたと。

役所は役所で、例えば総務省の補助金なども活用して実施している事例が他の区でもあるのですけれども、お金の問題もあって対象の数が少ないというのと、なかなか継続して、同じ人を対象にやっていくのが難しく、ぜひ地域でやっている取組みに役所も載せてもらう、例えば、ご要望いただいたのが役所の支援をできないかというなご意見もいただきましたので、地域と役所が手を携えて、スマホの普及を図っていくような方法がないかということを今後検討してまいりたいと考えてございます。

あと、I C T を広げるについても、やはりセキュリティ、特に役所についてはセキュリティをどうするのかということ、逆にセキュリティに対して不安があるので、知識なくスマホを使うと思わぬところで課金をされてしまうようなこともあると、いうようなご意見もありました。役所としてはセキュリティにも目を向けて取り組むよう心がけてまいります。

最後にどのテーマということではないのですが、1 つご意見をいただいたのが、総じて役所としては事業に対する分析、これをきっちりやるべきなのではないかと。たまたま今日の課長会で区長からも取り組みのプロセスについてしっかり分析するようという話があったのですけれども、全く同じ意見を委員から頂戴いたしました。今後、アンケートなども活用しながらしっかり事業について分析をして、何が弱いのか、何が足りないかというところをしっかりと把握していくよう改めて肝に銘じたところでございます。

（蕭議長）

たくさんのご意見をいただきどうもありがとうございました。

では、各グループからの発表について、もし何かご意見とか、補足があればぜひ、頂戴したいと思いますけれどもよろしいでしょうか。

では、ないようでしたらちょっと簡単に皆様のご意見をお聞きしたいのですが、正式な評価はまた後日、アンケートを改めて配付させていただいて詳細にお聞きしますけれども、今回は事前に勉強会を開催させていただいて事前に皆さんのご意見を集約した上で本番の方で、事前の説明を冒頭の説明を省略させていただいたのですけれども、それによって全体の流れが良くなったとか、分かりやすくなったと感じている方がいらっしゃれば挙手をしていただけますでしょうか。（大多数が挙手。）ありがとうございます。今後も、なるべく議論をする時間を長く確保するような方向性でぜひこの議論の段取りを向上させていただければと考えております。ご意見のある方は、他にも何かございましたら、ぜひ頂戴したいと思うのですけれども、よろしいでしょうか。無いようでしたら、本日事前勉強会でいただいたご意見を踏まえて、結構突っ込んだ議論ができたのではないかと考えておりますので、今、各グループからいただいた意見を踏まえて、再度、簡単に整理をさせていただきたいと思います。

まず、防災・防犯・コミュニティグループについてですけれども、大きく議論されているのは、やはり今まで、一番たくさん議論されてきたところの町会加入の促進支援と、災害に強いまちづくりの、この二本立てになっているのではないかなと思います。町会加入についてですけれども、これは今まで何度も議論されてきたのですけれども、やはりワンルームマンションとか新しいマンション住民というのは、なかなか町会のメリットを認識していただけないという状況があると思います。しかし、いざ災害が起きた時には、やはりマンション住民が一番大きな、例えば停電でエレベーターが動かなかったり一時的に買い物難民になっていたりするようなリスクは実は非常に高いと。さらには、まずその町会というのは日常的にその防災活動に取り組んでいる

とか、防犯灯を設置しているというような状況をきちんと伝えて、メリットを認識していただくようなことをこれからぜひ強化していただければと考えております。

あと、今はそのこども向けのサービスというのは、子育てサロンなり、基本的には区役所中心で進めておりますけれども、やはりこどもをきっかけに、その大人同士の交流が生まれたりするような状況がある中で、これからはぜひ町会を中心に子育て支援なり、新たな活動をぜひ取り組んで欲しいなと思います。こどもを中心に大人同士の関係性もぜひ町会を媒介として築いて欲しいなと考えております。

あと、こども関連の話ということで学校を通じての地域クラブの活動とか、地域の祭りの参加においても、ぜひとも、こどもたちの参加とか役割を評価していくことでそれに付随して、大人たちも参加せざるをえないというような状況が生まれてくると思うので、ぜひこれから意識して取り組んで欲しいと思います。

町会加入の一番大きなハードルとしては、やはり、町会費が高かったりとか、町会によってその金額の違いがあると、不平等感があったりすると思うので、やはりその金額が妥当であるかどうかとか、他の地域、町会等とどれぐらいの金額の差があるのかどうかとか、それから町会によってやはり提供しているサービスは、バラバラであったりするような状況があると思いますので、一度、すべての町会でどれぐらいの町会費を徴収して、それぞれどのようなサービスを住民に提供しているのかというようなことを一度点検した上で、町会同士で情報交換して、これからいくらぐらいの金額が妥当なのかというようなことを検討して欲しいと考えております。

続いて、福祉・健康グループについてですが、主に議論されているのが、誰もが自分らしく生き生きとして暮らせるまちづくりという施策を中心に議論されてきたと思うのですが、その福祉・健康という、話していた時にはやはり高齢者、こども、障がい者を中心にしつつも、やはり健常者の区民とか外国人の区民というようないろいろな方にも積極的に挨拶をしたり、気づきをし、積極的に彼らのニーズにも気づいてもらうことによって、積極的にネットワークを広げていくような、そういった取組

みが必要なのではないかと思います。

今、一番大きな障害になっているのがやはりコロナ前は、地域の中で、定期的に活動がなされてきたのですけれども、やはりまだまだ活動再開出来ていないところがあると思うので、その活動再開に向けて見守り活動なり、周辺への声掛けをしたり、それから一番大事なのはやはり地域の中でのキーパーソンをきちんと確保した上で、そのキーパーソンを通じていろいろなところに、特にマンションコミュニティだったり外国人市民が住んでいるようなところに、積極的に地域で展開している活動の情報を届けに行くということは、非常に重要ではないかなと考えている次第でございます。

3 番目の教育・子育てについてですけれども、議論されている施策は主に、子育て環境の充実についてなのですが、つどいの広場も子育て支援サロンも、一応周知はされているものの、やはり周知の強化、現状の LINE と広報紙に加えてプラスアルファで具体的にこの支援の活動というのはどういう内容で、誰がいつ何をやるのかというようなことを明確により多くの手段を使って発信していくことは重要ではないかなと考えております。

それに加えて、やはり乳幼児の健診というのも、お医者さんのご都合や精密検査該当の場合の予約を着実に行う等もあってなかなか柔軟に対応できていない現状があると思うのですけれども、その充実については、できることがないのかどうか、検討していただきたいと考えております。

それから、今回はこの 2 つの点に加えて、教育関連で学校の支援策の一環としてグラウンドの確保であったり、市の教育とか公園とかいろいろな公共施設を管理している部局との連携のもとで、ぜひともこれから教育に関する地域の中での環境の充実に努めて欲しいなと考えております。

最後に、総務・広報グループについてですけれども、もう昨今行政のみならず、企業とか市民団体の中においても、デジタルトランスフォーメーションというような言葉が非常に浸透しつつあると思うのですけれども、ホームページの改善とか見やすさ

というのは常々区民の皆様から、多くのご意見をいただいておりますけれども、私もいつも区役所のホームページを見て見辛いなと思いつつ、でも、大阪市全体が同じフォーマットで作っていますから、ちょっと難しいなというふうには思いつつも、その辺の改善の余地をぜひ検討して欲しいなと考えております。そのアンケート調査結果も、要するに市民たちの意見をいかに分かりやすく伝えていくかというところが重要です。これもホームページの見せ方と非常に関連するところであると思うのですけれども、例えばエクセルで作った棒グラフを貼り付けたような見せ方だと、なかなかわかり辛いと思うので、もうちょっと何かアクティブに、ここはこうなっていますよ、というような、市民が知りたいことをピンポイントでもうちょっと分かりやすい見せ方をぜひこれから検討して欲しいなと考えております。

窓口改革の一環として、待ち時間の解消ということで、これは区長のご専門ですのでこれからぜひ大いに期待したいところでございます。その辺は今後に向けた課題としてぜひ真剣に取り組んでいただければと考えております。

今回、主に議論されているのが区民の声が反映される区役所づくりと窓口改革とICTを活用した区政の推進という3つの施策について先ほど申しあげたのが、1つ目と2つ目の施策なのですけれども、3つ目のこのICTを活用した区政の推進ですけれども、区政の推進とはいうものの、このスマホクラブだったり、この高齢者のスマホ教育というのは、やはり区役所ができることと、町会とか市内でできることというのはあると思うのですけれども、例えば、町会がスマホクラブを立ち上げることによって世代間交流、スマホクラブというのは専門の講師にお願いしなくても、実は若い世代は結構みんな使い慣れていますので、そのスマホクラブを立ち上げることによって、地域の若い世代だったり、マンションに住んでいるようなあまり地域に関わらないような若い世代にも、積極的に若い世代に来てもらって、高齢者の方々にスマホの使い方を教えましょう、というような声掛けの仕方だと割と参加のハードルが低いのではないかと思いますので、そういったスマホクラブも西区役所の施策の一環として進め

つつも、ぜひ、これも 1 つのトピックとしてテーマとして、町会の中の新しいクラブ活動なり、新しい事業として、ぜひ立ち上げて欲しいなと考えております。

最後ですけれども、このアンケートとか、特にこの区政会議も今まで何年もやってきて、区民の代表である委員の皆様のご意見というのは今までアンケートの蓄積があると思いますので、具体的に皆様のご意見がどのように変遷していたり、それからその都度区役所で集約しているアンケートのビッグデータの解析をぜひ分析して、これからぜひ分析して、これからの区政運営に活用して欲しいなと考えております。

以上雑ぱくではございますけれども、まとめさせていただいた議論を踏まえてこれからぜひビジョンの改定案を完成するようにお願いしたいと考えております。

また、運営方針の方にも今日議論していただいた内容を踏まえて、ぜひ、反映をしていただければと考えております。

他に、ご意見とかまだあるかと思っておりますけれども、もう時間も時間でございますので、次第の 4、最後の項目ではございますけれども、その他として令和 4 年度の第 1 回教育会議について区役所から報告をお願いしたいと考えております。

（江原教育担当課長）

教育担当課長江原です。

私の方からこの 9 月 27 日に開催されました西区教育会議の概要についてご報告します。

資料の 6 を見ていただけますでしょうか。

各小中学校 11 校の学校協議会の代表 1 名ずつ、全員で 11 名の委員で構成されております。

第 1 回西区教育会議と書いています。

それを一つめくっていただきますと、当日の議題が目次として現れております。

1 つ目は令和 4 年度西区の教育関連施策ということで、それぞれの予算それから学力学習状況調査の結果等を報告しまして、意見としては子どもの体力運動能力向上事業

というのをやっているのですがその効果でありますとか、PTA等が学習会をする時の支援事業についての質問でありますとか、スクールカウンセラー事業について、議論がございました。

大きく2つ目です。教育環境改善について児童生徒急増対策でありますとか、その推計を説明したところです。

具体的には堀江小学校の西学舎が令和6年竣工予定ですが、そこと中之島にも小中一貫校ができるということについていろいろ質疑等ございました。

3つ目です。今日もご議論いただきましたけれども、次期きらばか計画の教育に関する部分について説明及び議論がございました。

主に学校選択制についてご質問等あったところです。

また、教育そのものではないですけれども町会加入についても、若干ご議論がございました。詳しくは一番最後のページに議事録等を添付しておりますので、ご参照いただけたらと思います。簡単ではございますが、以上で報告を終わらせていただきます。

（蕭議長）

どうもありがとうございました。

ではそろそろ時間となってきましたのでこれで会議を終了したいというふうに考えております。どうもありがとうございました。

（森本事業調整担当課長）

蕭議長、議事進行どうもありがとうございました。

本日は活発な意見交換と議事進行にご協力を賜りましてありがとうございました。まだまだ意見を伺って参りたいところでございますが時間が参っております。それではここで、三村区長から挨拶申し上げます。

（三村西区長）

今日は長時間にわたり、また夜分遅くまで本当にありがとうございました。各部会を回らせていただきましたが、皆さんから積極的かつ有効なご意見をいただけたと思

っております。

ご議論いただいた中で、イベントアンケートの件や、待ち時間の大切さについて改めて認識したという意見もございましたので、これは区政に着実に反映していきたいと思っております。

1点だけ補足ですが、今回3つの部会にプラスして総務・広報という部会を入れました。この思いだけお伝えしたいと思います。

この項目の中で窓口改革が入っています。部会の中で説明させていただきましたが、西区の格付評価は極めて低いです。窓口の対応レベルのことです。これには、人口が急増している中で職員が増えないことや、業務量が増えている中でも若手中心になっているなどの事情があります。しかし、このような状況の中でも、このような低い評価になっているのはよくないので、変えていきたいと思っています。

ホスピタリティーや対応のレベルを上げていくことは当然のことですが、本当にめざしたいのは、区民の皆さんと区役所職員との関わり合いを変えていきたいということです。私の感覚では、区役所に行くのは「何かお願い事や用事があって行きます」、区役所の職員も「言われたらやります」、こういう関係性だと思っています。私も着任した時はそのような印象を受けましたので、そこを変えていきたいと思っています。

我々行政サービスを提供する立場としては、民間企業とひとつも変わらず同じであり、より高潔さを求められるというミッションの高さを私たちは感じています。私がめざしたい、こうなって欲しいと思っているのは、「言われたからやる」のではなくて、「こういうのをやりませんか」とか、「こういうのはいかがですか」とか、「こういうことで困っていませんか」と発信していける区役所にしていきたいということです。

それに向けて頑張っていくにあたり、まずは区役所の印象を良くしたいです。「区役所に行くのはちょっと楽しみだ」とか、「何かまた新しい発見があるかな」、「驚きがあるかな」というように思っただけの区役所にしていきたいと思っています。それが今の段階では窓口改革だと思い、この項目を入れさせていただきました。私の窓口

改革に対する思いが強いのはこういったところです。

窓口改革というのは言葉では簡単に聞こえるかもしれませんが、真剣に取り組むのがどれだけ大変かというのは、私がこの半年間取り組んできて本当に感じているところです。しかし諦めずに着実に進めていきたいと思っております。

いろいろなご意見があるかと思いますが、忌憚なくぜひお聞かせいただきたい。私は区役所を日々少しずつでもよくしていきたいと思っていますので、皆さんには温かく見守っていただければと思います。よろしくお願いします。

もう1点、本日皆さんからいろいろなお話しをお聞かせいただき、また我々からもいろいろなお話をさせていただいたと思います。受けた印象についてぜひ身近な方にお話をさせていただきたい。「こんな話でしたよ」とか、「こんな印象を受けたよ」とか、良いも悪いもどちらでも構わないです。皆さんが身近な人にお話しいただくことで、より多くの方にとって区役所が身近なものに感じられるようにしていただきたい。我々もSNSや動画などにより情報発信を心がけていくのですが、やはり口伝が一番実感を持っていただきやすく伝わりやすいと思っています。重ねてのお願いで恐縮ですがよろしくお願いします。

本日は長時間、会議にご参加いただきありがとうございました。

(森本事業調整担当課長)

長時間にわたりましてご意見を賜りありがとうございました。

本日の会議でのご意見やご提案につきましては、将来ビジョン、福祉ビジョンに反映し、12月中をめどに各委員あてに郵送でお送りさせていただきます。

また本日の会議の内容は西区のホームページで後日公開いたします。

第3回区政会議の日程をご記録いただけますでしょうか。年明け1月26日木曜日を考えてございます。今後の感染状況も踏まえ、改めて遅くとも1月上旬には正式にご案内をいたしますが、一旦ご予約いただければと存じますのでよろしくお願いします。

最後に時間がおしている中、大変恐縮でございますが、3 点ほど事務連絡をさせていただきます。

1 点目でございますが、運営方針に対する区政会議委員の皆様の評価でございます。資料 8 をご覧いただきますようお願いいたします。前回の区政会議で回答数が少ない中で、本当に適正な評価といえるのかというご意見を頂戴いたしました。ご指摘を踏まえまして再度未提出の委員に提出をお願いいたしましたところ、新たに 7 名の委員にご提出をいただき 8 割近い回答を得ているところでございます。結果といたしまして、回答数に占める「評価できる」、「やや評価できる」、との回答が合わせて 8 割を超えてございまして、これは前回報告させていただいた評価結果と大きく変わってございませんことを改めてご報告させていただきます。

続きまして、2 点目、資料 9 をご覧いただけますでしょうか。これは前回いただきました区政会議への委員の評価についてでございます。時間の関係もあり、簡単な説明で恐縮でございますが、活発な意見交換ができているか、適切なフィードバックができているかという問いに対しましては、8 割を超える委員の皆様から肯定的な回答を頂戴しております。一方で、これも従来からのご指摘でございますが、資料が多い、意見を述べるための知識の不足、開催回数が少ないといったご意見も頂戴しております。

頂戴したご意見を踏まえまして、より分かりやすい簡潔な資料づくりの工夫など、改善して参りたいと考えてございますので、引き続きご助言をよろしくお願いいたします。

最後でございます。先ほどのアンケートの中にも突然連絡があるといったような趣旨のご指摘もございましたが、もっと簡便に皆様に連絡をとらせていただけないかなと考えてございます。

つきましては、別添の資料 10 を用意させていただいております。従前からのスマホまたはパソコンでのアドレスを教えてくださいをお願いをしておりますが、頂戴し

ておりますのは 10 名程度となっております。

今一度、連絡のとれるアドレス、パソコンでもスマホでも結構でございますので、教えていただきたいということで、この 1 枚ものの用紙にご記載いただきまして、退出される際に区役所職員にお渡しいただければ幸いです。ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

それでは以上をもちまして、令和 4 年度第 2 回西区区政会議を終了させていただきます。どうもありがとうございました。